

下記は 2022 年 4 月 4 日(米国時間)に米国で配信したリリースの参考和訳です。

2022 年 4 月 4 日

バンク・オブ・アメリカ、サステナブルファイナンスとして、 2021 年に 2,500 億ドルの資金供給を支援

2030 年までに達成を目指す 1 兆 5,000 億ドル規模のサステナブルファイナンス目標の一環として、持続可能な環境への移行および社会的包摂の推進に貢献する資金循環を加速

バンク・オブ・アメリカは、2021 年のサステナブルファイナンス関連の取組みが 2,500 億ドルに達したことを発表しました。これは過去最大であり、前年の水準を大きく上回るものです。当社は昨年 4 月、2030 年までに 1 兆 5,000 億ドル規模のサステナブルファイナンスを行う目標を発表しており、国連が掲げる 17 の持続可能な開発目標に沿った環境と社会の推進に向けて、非常に大きく進捗しました。

当社副会長のポール・ドノフリオは、次のように述べています。「当社のサステナブルファイナンス戦略は、お客様、従業員、そしてコミュニティへのあらゆる活動に組み込まれており、全てのステークホルダーにとってより包摂的なネットゼロ社会の実現に向けてコミットしています。当社のサステナブルファイナンスは長期的観点で、持続可能な環境への移行および社会的包摂の推進をグローバル規模で継続的に拡大していきます。私たちは金融機関として、当社の規模、専門性、資本市場へのアクセスを活用し、このようなグローバルな課題と機会への投資や資金調達を積極的に支援していきます。」

バンク・オブ・アメリカでは、低炭素への移行や社会的包摂の推進を目指すお客様に、融資、資金調達、アドバイザリー、投資サービスおよびその他の財務・リスク管理ソリューションを提供しています。当社は今後も、環境関連のサステナブルファイナンスの取組みを拡大し、その内容を進化させていきます。具体的には、再生可能エネルギーやエネルギー効率化プロジェクト、電気自動車や持続可能燃料によるサステナブルな輸送の推進、サステナブルな食品や農業、クリーンな水資源や公衆衛生、二酸化炭素回収やボランタリーオフセット・コンプライアンスオフセットのソリューションへのアセットベース・ファイナンス、アドバイザリーや資金調達サービスなどをより一層強化します。当社はまた、手頃な価格の住宅や医療・教育の提供、デジタルや金融サービス分野における包摂性の向上、マイノリティや女性が経営する企業、十分な支援が受けられていない地域での資金調達などを通じて、引き続き社会的包摂の推進を支援していきます。

当社でサステナブルファイナンスのグローバル・ヘッドを務めるカレン・ファンは、次のように述べています。「パーパスに基づく金融サービスの提供は、社会や環境の変革を推進する強力なツールになります。私たちは社外のアライアンスやパートナーシップ、社内のステークホルダーと連携し、さらにサステナブルな未来を目指して、具体的かつ有意義な取組みを継続していきます。取り組むべきことはまだありますが、昨年大きく拡大した当社のサステナブルファイナンス関連の実績は、変革を推進するリーダーとして、当社のコミットメントと実行力を証明するものです。この取組みの対象が、先進国市場であっても新興国市場であっても、成熟したテクノロジーであっても新しいテクノロジーであっても、それが気候変動でも社会的平等の実現に向けてでも、当社におけるサステナブルファイナンスの取組みは常に支援が最も必要とされる場所へ資本が行き渡るよう、新しく革新的な方法を見つけることに焦点を当てています。」

以下は、当社の2021年のESG関連の取組みのハイライトで、[Bank of America 2021 Annual Report](#)にもその概要を記載しています。

持続可能な環境への移行

- 2030年までに1兆5,000億ドル規模のサステナブルファイナンスを行う目標を定め、そのうち持続可能な環境への移行に1兆ドル、社会的包摂の推進に5,000億ドルをコミットしました。
- 自社の金融業務、事業運営、サプライチェーンにおいて、2050年までに温室効果ガス(GHG)排出ネットゼロを達成する目標を定めました。
- 2021年は、182社を超えるお客様のESG債券発行を引受け、総額は471億ドルに達しました。
- 再生可能エネルギー分野への税控除付き株式投資では、2015年以来業界トップで、2021年末時点の当社のポートフォリオは約120億ドルでした。米国の風力および太陽光発電による発電容量のうち、約16% (38ギガワット)が当社の投資により開発されたものです。

社会的包摂の推進

- バンク・オブ・アメリカのESG債券発行フレームワークに基づき、2回目となる20億ドル規模のEquality Progress Sustainability Bondを発行しました。今回は対象範囲を黒人・アフリカ系アメリカ人やヒスパニック・ラテン系だけでなく、女性、アジア系アメリカ人、太平洋諸島や先住民へ拡大しています。これにより当社は、2013年以降現在までに、9件のグリーン、ソーシャル、サステナビリティ債券を発行し、総額は約120億ドルに達しました。
- 2025年までのBank of America Community Homeownership Commitment®の対象額を従来の3倍の150億ドルに拡大し、低・中所得層(LMI)約6万世帯の住宅購入を支援することを目指しています。
- 手頃な価格の住宅や経済開発の支援のため、当社のCommunity Development Banking業務を通じて、過去最大となる66億ドルの融資、税控除付き株式投資、その他の不動産開発ソリューションなどを提供しました。また、2005年から2021年までの期間で、22万7,000軒を超える手頃な価格の住宅に融資などを行いました。
- 4億ドルを超える投融資を組成し、手頃な価格の住宅提供、経済的開発、中小企業支援、医療ケアセンター支援、チャータースクール支援、その他のコミュニティサービスを手掛けるCommunity Development Financial Institutions (CDFIs: コミュニティ開発金融機関)への支援を総額20億ドル以上まで拡大しました。
- 当社は人種や経済的機会の平等を推進するため5年間で12億5,000万ドル規模のコミットメントを行っており、その一環として、多様性の高い起業家や中小企業オーナーに100を超えるエクイティ・ファンドを通じて3億ドル以上を提供した他、21校の歴史的黒人大学(HBCU)やヒスパニック系を対象とする教育機関などへ2,500万ドルを提供しており、このような支援の総額は4億5,000万ドルを超えました。

さらに、民間セクターによるより効果的な資本活用を促すため、2021年にはクリーンエネルギーへの移行加速を目指す数々の企業連合に参加しました。具体的には、Net Zero Banking Alliance (NZBA), the Glasgow Financial Alliance for Net Zero (GFANZ), Breakthrough Energy Catalyst, the First Movers Coalition, 世界経済フォーラム (WEF) の Clean Skies for Tomorrow Coalition, the Guidehouse Consortium for Clean Hydrogen, and the WEF's Natural Climate Solutions (NCS) Investment Accelerator などです。

持続可能な開発目標に関するお客様への取組みの詳細は、バンク・オブ・アメリカの[ホームページ](#)をご覧ください。当社のESG関連の取組みのハイライトは、[Bank of America 2021 Annual Report](#)の35ページをご覧ください。

バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは世界有数の金融機関の一つであり、個人、中小企業および大企業を顧客とし、銀行業務、投資業務、資産運用業務、その他の財務管理およびリスク管理のための商品やサービスを幅広く提供しています。約4,200のリテール金

融センター、約 16,000 台の ATM、また 5,400 万のユーザーが利用する受賞歴もあるデジタル・バンキングを通じ、約 6,700 万の個人や小規模企業の顧客にサービスを提供し、米国内で他社の追随を許さない利便性を提供しています。バンク・オブ・アメリカはウェルス・マネジメント、企業金融、投資銀行、広範な資産クラスにわたるトレーディングにおいて世界的なリーダーであり、世界中の企業、政府、機関、個人などにサービスを提供しています。当社は、革新的でありながら利用しやすいオンラインの商品やサービスにより、約 300 万人の小規模事業主の顧客に対して業界有数のサポートを提供しています。バンク・オブ・アメリカは、35 カ国以上で顧客事業を展開しています。バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの株式（取引略号：BAC）はニューヨーク証券取引所に上場されています。

バンク・オブ・アメリカの ESG の取組みについて

バンク・オブ・アメリカは、環境、社会、ガバナンス（ESG）を重視し、「責任ある成長」戦略の元に全てのステークホルダーがよりよい経済生活を実現できるよう支援しています。当社は、ESG 原則に基づき、8 つのビジネス・ラインを通じて世界経済の活性化を支援し、ESG への取組みにより、働きたい企業、投資したい企業、ビジネスパートナーにしたい企業としての信用と信頼を構築しています。また、従業員の多様性を尊重して違いを受け入れる職場環境の構築、責任ある製品およびサービスの提供、そして、世界各地の地域経済の発展の支援に積極的に取り組んでいます。さらに、地域社会、消費者、環境団体などの非営利団体や支援団体と強力なパートナーシップを築き、当社のネットワークや専門性を活用し、より大きな影響をもたらします。

###

報道関係者お問い合わせ先:

バンク・オブ・アメリカ 広報部

長谷川 万里子

03-6225-7176

mariko.hasegawa@bofa.com